

江工学生会報

発行所
江 工 会

島根県江津市江津町1477
島根県立江津工業高校内
電話 (代) 0855-52-2120
郵便番号 〒 695-0011

会長就任三年目

会 長 土 井 正 人

(工業化学科 昭和三十九年卒業)



皆様あけましておめでと
うございます。
皆様方にお

かれましては、昨年一年間、

アベノミクスの恩恵は多少で

もありませんでしたでしょうか？そ

して、今年は四月より消費税

8%、待ったなしです。激動

の年の幕開けなのでしょう。か。

さて私、一昨年、室安会長の

の残任期間を引き受けまし

た。会長の任期ですが、昨年

五月の総会において、「再度
会長を」と要請され、微力では
ありますがお受けし、今年
三年目を迎えます。
そして、この平成二十六年、
母校は開校八十周年を迎え、
十月には開校式典も計画され
ています。是非、地元の皆様
は何時でもお越しいただき、
後輩たちを励ましていただき

たいと思います。また、遠方

の皆様には帰省の折、母校に

足を運んでもらい、八十年の

歴史を感じていただきたいと

思います。

ここである新聞の論説の一

部を紹介させていただきます、激

動の日本を考える一助となれ

ばと思います。

この国はどこへ行くとうし

ているのか、危うい舵取りの

先にどんな未来が待ち受けて

いるのか。もう私たちは気付

いている。成長は幻影だとグ

ローバリズムは民主主義の脅

威だと、原子力発電所の莫大

な費用と危険、憲法改正の企

てに潜む軍備のよろい、税と

社会保障改革という名の平成

の棄民政策、国家と文明の危

機は誰の目にも明らかだ。二

度の政権選択を経験し、少な

からぬ諦念と絶望の中にある。

こんな論説で始まっている
のですが、本当にこの国の未
来は、そして私たちの日常生
活は、何時どこで震災が起き
るのかわからない、異常気象
(昨年八月の豪雨は江津にと
つて甚大な被害をもたらしま
した。復旧には三年かかるとい
われます。これからが本格的
です。)おまけに特定秘密保
護法だとか：

国家戦略会議、国家安全保

障局、更にはTPPに至つ

て、国民は全く蚊帳の外、こ

んなことを全て理解できる人

つて、どれ程の方がいるので

しょう。子ども、孫たちは大

丈夫なのでしょうか？不安が

よぎります。

話は変わりますが、数年前、

東京のお台場にある未来科学

博物館に行ってきました。そ

こには直径6mの地球が浮か

び、コンピュータによって今

の地球の気象状況が刻々と映

し出されていきました。とつて

も感動的です。是非、皆様も

一度行ってみてください。

地球を1mの球とした時、

人工衛星や宇宙ステーション

はどの辺を飛んでいると思

いますか？ 球の表面より約4

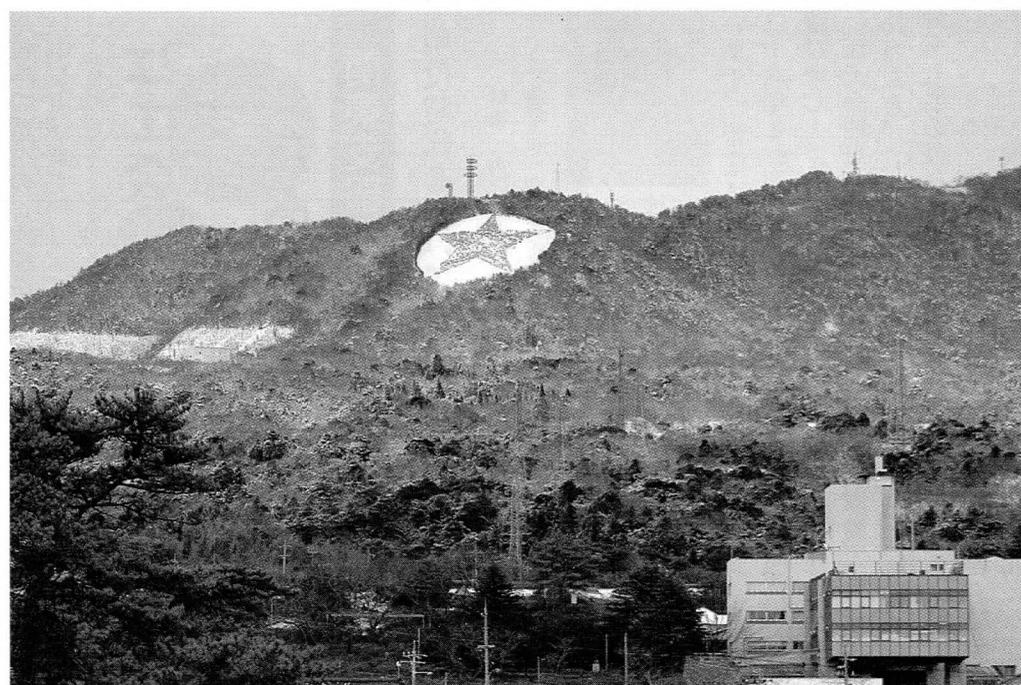
〜5cm離れたところを回つて

いるのです。地球は大きい

です。そして日本の面積は地球

の陸地の約0.2%の国土し
かありません。そこに人口は
1億2千万人と約2%を占め
ています。そして日本の工業
生産量は世界の約10%と世界
第3位です。こんな日本の食
糧自給率は約40%を切ってい
ます。食と経済のバランスが
壊れている気がしてなりません。

ん。やはり不安が先に立ちま
すね。それでも私たちは明日
に向かつて生きるしかありま
せん。
卒業生の皆様にとつて、今
年が夢と希望に満ちた年にな
りますと共に、母校発展を願
つて挨拶とさせていただきます。



雪の星高山 (本校4階より望む)

ご挨拶

校長 大賀美周作



江工会員の皆様には、新春をお元気で、お迎えのこととお慶び申し上げます。

平素より、本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年四月に赴任してまいりました。江工は私の初任校であり、企業人から教職の道に飛び込んだ深い学校であります。江津・浜田地域を

中心とした工業人材育成の拠点として本校が担うものは大変大きいものがあり、本校の学校経営について改めて身の引き締まる思いがいたしました。

来年度には八〇周年を迎える伝統校である本校の発展のため精一杯努力をする所存でございますので、よろしく

お願いいたします。少子化の影響を受け、平成一四年以降三学科九クラス定員三六〇人を維持しています

が、本年度は全校生徒二二五名でスタートしました。特に三年生は五一名であり、全校生徒の少なさに繋がっています。数年後の江津・浜田地域

の中学生数減により一層生徒確保が厳しい状況にあります。県西部の少子化が著しく、西部で定員を満たす高校は皆無の状態です。来年度より浜田商業高校が学級減になり二

クラスの専門高校となりまして。厳しい状況は続いておりますが、本校は地元就職の生徒も増え、地元の期待や過去の実績の高さに後押しされ、頑張っています。

さて、話は変わりますが本年度三つの事業を進めています。一つ目は、昨年から二年間の事業である「人権・同和教育指定校」です。人権・同

和教育の柱である進路保障について、生徒にコミュニケーション能力を身に付けさせるように、教員が授業において

言語活動の充実に取り組んでいます。確かな学力にも繋がります。考える力や自分の考えや

意思を相手に伝える力を養うように努めています。昨年十一月に開催された人権・同

和教育研究大会で発表し、学校全体の新たな取り組みとして高い評価を得ました。二つ目の事業は、本年より

三年間の「キャリア教育モデル地域事業」です。これは県教育委員会が江津市をモデル地域に指定し、県立高校（本校と江津高校）と市内すべての小学校・中学校が連携しキャリア教育を実践していくものです。

キャリア教育とは「将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を

実現するために本来に必要な力を育成するための教育」です。二ト・フリーターの増加や新卒三年以内での離職者

数増加等を踏まえ、幼稚園から大学生までその適齢期にあつた職業感や勤労意識につ

いて学ばせようと始まりました。近隣の小学校が取り組んでいるサッカーロボット（世界大会まである）への協力や

ピアサポート等から始めています。三つ目は、校舎の大規模修繕事業です。本年度末から四年

程度かけ本館内外装から始まり、体育館内外装、教室棟・実習棟外装の修繕を行います。工事期間中は、ご不便をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。本年十月には、八〇周年記念式典も予定しております。

母校への益々のご支援をお願い申し上げます。

江工会 支部 だより

関東支部

現役時代を顧みて

幹事 吉 迫 武 則

(電気科 昭和三十九年卒業)



江工会会員の皆様新年あけましておめでとうございます。

希望に満ちた平成二十六年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

江工会関東支部は西村支部長のもと、二名の副支部長、幹事七名の役員により活動をしていきます。年間の活動内容としては、役員会八回、ゴルフ二回、野山散策会二回、新

会員歓迎会、連絡委員の参加を仰いでの新年会が毎年度定期的に開催されています。すでに現役を引退して五年

になります。退職の前、約三十年間人工透析装置の開発に従事していました。開発当初には、社内にて透析装置に長

けた方はおられず、且新しい除水原理に基づいた装置であつたため色々な苦労をしながら試作機を完成させ病院での臨床試験を開始しました。

ご存じのように、慢性腎不全の方は、尿が出ません。そのため、腎臓の代わりに、週三回、一回あたり四時間かけて尿毒素成分と水分を身体から除去しなければなりません。その役目を果たすのが人工透析装置です。臨床試験の時、患者さんからこれまでの透析装置は、水分がどれだけ除去できたか透析が終了するまで解らず大変不安だったが

この装置は時々刻々水分除去量が解るので随分安心できると大変感謝されたことが、その後この仕事を続けてこられた原動力になりました。

現在日本の慢性腎不全の患者さんは約三十万人、四二〇人に一人の割合です。透析を開始する元となった疾患すなわち原疾患は生活習慣病とされる糖尿病が実に44%を占めます。また、透析を開始される平均の導入年齢は六十八才になっています。

江工会の会員の皆様におかれましては、糖尿病に充分注意され今年も元氣にお過ごしください。

関西支部

『諸先輩の志を受けて』

事務局 中 上 清 之
(建築科 昭和五十一年卒業)

新年おめでとうございま
す。江工协会会员の皆様には、
益々ご清栄のこととお慶び申
し上げます。

若いときには江工会に参加
することなど、めんどろくさ
いと思つたものですが、五十
歳を過ぎた頃から人的交流の
重要性を感じ、平成二十年六
月の総会に初めて参加させて
いただきました。その後はゴ
ルフコンペにも参加させてい
ただきながら、知らぬ間に諸
先輩方に交じって事務局の仕
事もしております。

我々世代は、世間では年配
のカテゴリに入つておりま
すが、江工会の中では『若い
もん』と言われるほど高齢化
が進んでおります。しかしな
がら、高齢化が進んでいく中
で私が特に実感していること
は、諸先輩方が後輩の面倒を
良くみていただいているとい
うことです。このことはビジ
ネスにおいてもメリットを感
じております。

一般世間では、江工会のよ
うな組織はあつても、先輩が

後輩の面倒もみるような関係
は珍しいようです。こういう
関係が江工会の伝統であるな
らば積極的に関わつて、未来
にむけて継承していきたいと
思つております。

そんな関西支部では、春・
夏・秋の三回ゴルフコンペを
開催しており、多い時で二十
人位の参加があります。賞品
は優勝トロフィーの他高級和
牛肉や丹波の黒豆など、参加
いただいた方全員にお土産を
用意させていただいております。

年末の忘年会では新旧の役
員が集まり田舎の話やら遊び
の話題で盛り上がり、最後は
カラオケで一年を締めくくり
ます。また、総会やゴルフコ
ンペを利用してプチ同窓会も
おこなつておりますので、各
科を問わずこういう機会を利
用して親交を深めていただき
たいと思います。



カラオケ会の様子

山口県支部

山口県支部の現状

支部長 大屋 節 雄 (岩国)
(工業化学科 昭和三十八年卒業)



江工会の皆
様明けまして
おめでとうご
ざいます。昨

年までは吉崎錦明先輩が支部
長でしたが、今年より若輩者
の私となりました。

山口県支部は五地区に分け
て毎年持ち回りで支部総会を
開いています。開催の歴史は
古く、今年は第五十二回目
で下関の「ふく楽舎」で山口県
内各地からの出席者二十七名
と本部より高月先生のご来場
をいただき盛大な会となりま
した。総会を開催する時は九
州支部の方も招待しており、
今回七名が来られました。

山口県には、新卒者の就職
がなく、また高齢化と共に参
加人員は年々減少しています
が、その反面参加する者は皆
気心知れたる何時もの同志で
酒が入ると和気藹々となり、
自作の歌・ハーモニカ・踊り
で場が盛り上がり、最後は校
歌で仕上げをします。

支部総会開催の準備で行つ
ています運営委員会を年二回

山口市内で開催しています。
三年前、総会を江工会館でし
ました時、貯金を相当使いは
たしましたので、それまで使
つていたホテルから山口市公
民館を使用し経費削減に努め
ています。

昨年五月に江工会本部の総
会に参加しました。少子化の
ため生徒人数は年々減少して
いる様子。江工会館の維持経
費も相当かかるとか。何か方
策を考えねばと心配していま
す。

山口県支部総会の長い歴史
の中で色々な事がありまし
た。例えば、平成七年二月に
岩国で開催する事になり、恩
師として工化の安藤博先生に
来ていただく事で先生の了解
を得ていました。しかし直前
に阪神淡路大震災が勃発し新
幹線が止まり堺の安藤博先生
の来場が困難となりました。
急遽、益田の盆子原利男先生
宅までお願いに行つた思い出
があります。

終わりに江工会本部の益々
の発展と関係者のご多幸を祈
願しています。



九州支部

支部活性化に努力

支部長 大 草 正
(建築科 昭和三十一年卒業)



江工会会員
の皆様あけま
しておめでと
うございます。

良い年られた事とお慶び申し
上げます。

さて昨年は、二〇二〇年の
東京オリンピック・パラリン
ピックの開催が決まり、富士
山の世界文化遺産登録など明
るい話題があり、一方では食
品偽装問題、日中韓の政治的
外交の行詰まり等、問題山積
みしております。

我々九州支部は、平成二十
五年三月二日(土)総会を本
部より砂田 忠副会長、高月
先生を迎え、ホテルクラウン
パレス小倉にて開催いたしま
した。毎年のことですが、今
年も出席者が少なく高齢化が
増々進んでいる事を痛感した
ところ。山口県支部から
も応援していただき、何とか
無事終わられる事が出来まし
た。

今年江工会本部において
卒業生名簿を作成されるとの
事、これを機に少数であれ入

会していただきたく、九州方面におられます卒業生の方、何卒御協力の程よろしくお願い申し上げます。

若い力で再び活気ある九州支部を立て直すため我々は努力する所存です。この紙面をお借りしてよろしくお願

いいたします。最後にになりましたが、会員の皆様方のご健勝と母校の発展を心からお祈り申し上げます。



平成 24 年度江工会九州支部総会

益田支部

益田で初めての江工会

和田 美 典

(建築科 昭和四十四年卒業)



新年明けましておめでとうございます。江工会の

皆様には、ますますご健勝にて新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年十一月二十二日(金)

益田支部総会が「三好家」(益田市幸町)に於いて十五

名の出席で開催されました。

昭和四十七年より地元

居ながら出席をしております

んでした。というのも当時、

仕事山口方面が多かったた

め、昭和六十二年、当時の山

口江工会支部長の小林輝男様

よりお誘いを受け、第二十六

回山口支部総会に参加をさせ

て頂きました。それ以来、山

口支部への参加となり、多い

ときは四十名を超える出席者

で、盛大に開催される会を毎

年楽しみにしております。

近年益田支部が発足し、ご

案内を頂いておりますが、

なかなか出席ができなかつた

のですが、会員でもあるゴルフの先輩に誘われて、今回初

めて出席をしました。少人数の参加でしたが、和気藹々ととても楽しいひと時を過ごすことができました。今回ゴルフは中止でしたが、次回はゴルフからの参加をと今から楽しみにしています。

今年目標は、グリーン回りの処理と、スマートフォンへの切替への決断?です。

当地でもいくらか景気回復の兆しが見えているように感じます。この波に乗り地域に貢献できるよう頑張りたいと思います。

弥栄支部

新年を迎えて

支部長 大谷 十三一
(工業化学科 昭和四十五年卒業)



新年明けましておめでとうございます。江工会の

会員の皆様にはご家族共々ご健康で新年を迎えられたことと思えます。

昨年は異常気象でし

か、夏場の猛暑に始まり、七月・八月のゲリラ的集中豪雨

により全国各地において多くの被害が発生しました。当島

根県においても津和野町や浜

田市・津津市において家屋の崩壊や道路や河川を始とした公共施設等に大きな被害が生じました。

また、十月には伊豆大島が台風二十六号により常識では考えられないような被害が発生しました。それぞれ被害を受けられた方々にはお見舞いを申しあげるとともに一刻も

早い復興・復旧願うものです。今年度はこうした災害が起こらないことを祈っております。

このような世相では在りませんが、昨年も弥栄支部では二月十七日に「ふるさと体験村」に於いて第二十七回の定期総会を開催しました。当日は古

藤学校長様、石井先生(事務局)様を始め、今回は江工会

浜田支部長の松浦様にもわざわざ厳冬の地にお出で頂きました。支部会員二十数名の内

七名の参加で出席率は低調でしたが、地酒を酌み交わしながら歓談しました。

総会の最後には恒例の応援歌・校歌の大合唱で締めくく

りました。今年も二月には計画したいと考えていますが、

年々出席率が低くなるのが心配です。

最後になりましたが、江津工業高等学校生徒並びに江工

会員皆様のご健康とご多幸を

心より祈念申し上げますと共に弥栄支部の活動にご指導御協力をお願い致します。



江工会弥栄支部総会

浜田支部

支部報告

支部長 松浦 三男
(電気科 昭和四十年卒業)



会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

ます。

浜田支部は、平成二十二年六月に再結成し、昨年六月八日に第四回総会を開催し延べ三十三名(来賓含む)が出席

しました。今回は弥栄支部から四名の方の出席がありました。現在、支部会費納入会員

は五十七名ですが、次期総会(例年六月)は、役員改選を

含め更に拡大に向け取り組ん



で参ります。

浜田支部は、当面年一回集うだけですが、今後色々な意見を取り入れ、「江工工会会報」の配布や江工会本部との連携を図り活動してまいりますのでご支援をよろしくお願ひします。

その中で支部総会に前回・前回と出席していただいた善田奎右氏（電気科・昭和三十九年卒業・浜田市国分町）が、昨年十二月に急逝されたことです。残念でなりません。今年十月には江工開校八十周年記念式典が開会されます。

一昨年、江工会会長が室安延博氏から土井正人氏に交代されました。土井氏との関係は、私より一年先輩で江工時代ポート部に所属し、フィックス（六人漕ぎ）で三番・四番を漕いだ中であり、浜田支部からなるべく多く出席者を募りたい。

私は定年退職して今年三月末で七年になりますが、昭和時代に勤めていた職場（浄水場）に再雇用となり仕事をしています。



江工会浜田支部総会

江津支部

八十周年を基に新たな魅力化に挑戦を！

事務局 横田 学

（工業化学科 昭和四十三年卒業）



石見地域は少子化が加速度的に進む極めて厳しい現状の中で、母校である工業高校の定員割れに歯止めをかけていく事が、この八十周年を継起に新たな取り組みを進めていく必要があるかと思ひます。

昨年度の重点取り組みについて

① 関東支部年次総会出席、

二月二十四日（日）

於：西五反田ゆうぼうと

土井会長、古藤校長

沖田先生

江星会（江津高校）

原田会長 等出席

② 五月十二日「第二回ふるさとで働きを考える」PTA

総会で地元企業五社×生徒

×保護者トークセッション

方式



ふるさとで働きを考えるトークセッション

③ 関西支部年次総会出席、

六月一日（土）

於：大阪弥生会館

土井会長、大賀美校長

倉本先生等出席

④ 江津地区小中高連携連絡会

発足（島根県で二地区指定）

・ふるさとキャリア教育を

小中高連携にて協力に推

進

・大賀美江津工業校長副会

長に就任

八十周年を基に地域から愛

され信頼されて成長し続ける

江津工業高校として有り続ける

のために、全国のOB会員の

皆様のご協力を宜しくお願ひ

致します。

同窓会

五月十九・二十日

機械科三十八年卒

（十四期・獣士会）

私達昭和三十八年機械科卒は古希を前に五十年目の同窓会を大阪箕面観光ホテルに於いて開催しました。

仲間五十一名のうち（住所不明九名・物故者三名）三十九名に案内状を送付しました。自営の方・体調不良・家庭の事情などで当日二十一名の参加連絡を受けました。

当日は幹事の不安が的中し、体調不良で二名の欠席者が出ました。原田代表のもと十九名により、しかしうれし

い事に「海外のカンボジアから村上君、そして東日本大震災の復旧作業に携わっていた藁田君が休暇を取って出席してくれました。」先生方、仲間のご冥福を祈り黙祷で同窓会の幕を開けました。校歌斉

唱から原田代表の挨拶、そして永井君の乾杯の音頭、田中・

湊君の「ふるさとのはなしをしよう」で、賑々しく開宴しました。

各自の近況報告では会社時代の苦労話、学生時代の先生と想い出等幾つかの知られざるエピソードも紹介され、欠席者の近況も披露し大変盛り上がりしました。何せ五十年振りの再会の方が大部分ですので一次会二次会三次会と夜の更けるのも忘れて会話が弾みました。

二日目は水上バス・アクアライナーで淀川を散策し思い出の地大阪城を見学、野外広場で昼食を取りながら来年江津工業八十周年に合わせて江津近辺で同窓会を、又住所不明者の安否確認を、と次回の再会を約束して散会しました。

幹事 小川 征夫



2013年5月18日

機械科三十八年卒（十四期・獣士会）

五月二十二・二十三日

機械科三十一年卒

(七期・元機会)

東京「KKRホテル」、存命者三十一名中十五名にて開催。楽しく盛大に開催し、2日目は、ほとバスにて、スカイツリー、浅草、東京ソラマチなどを見学。無事散会する事が出来ました。

幹事 小松原和則



祝元機会喜寿記念
平成25年5月22日 於東京
元機会同窓会
機械科三十一年卒 (七期・元機会)

二月十七日

弥栄支部総会

ふるさと体験村に於いて大谷十三一支部長(工化科四十五年卒)はじめ七名の会員の出席。

前年度の活動(事業)や決算の報告、本年度の活動(事業)計画や予算、次回幹事についての審議がありました。

懇親会では、総勢一〇名(本部三人含)の出席。会場は離れの古民家であり、校歌、援歌を全員で歌い、現在の学校の報告や昔の様子などを聞く事ができ、親睦を深められました。

二月二十四日

関東支部総会

ゆうほうとにて開催

西村 和也(建築科四十七年卒)支部長はじめ七十二名の会員の出席。

来賓として、関西支部より風早 昭氏(建築科四十一年卒)、中上清之氏(建築科五十一年卒)、堀越保幸氏(建築科五十一年卒)

江津支部より事務局長の横田 学氏(工業化学科四十二年卒)、島根県東京事務所より一名、山陰中央

新報社より一名が出席。

総会では、前年度の活動(事業)や決算の報告、本年度の活動(事業)計画や予算

についての審議がありました。



関東支部総会

懇親会では、アトラクションとして真将会(みつまさかい)による津軽三味線、演歌歌手・山崎悌史氏(建築科S五十一年卒)による熱演が演じられ大変盛り上がりしました。

二月二十八日

新卒者入会式

江工会入会者(平成二十三年卒業生六十七名)

総合電気科 平成十五年卒業の小川喜明氏より「私の仕事術」と題して卒業を控

えた生徒たちに自分の経験をもとに熱のこもった講話をいただいた。



入会式講演会

三月二日

九州支部

ホテルクラウンパレス小倉で開催。

大草正支部長(建築科三十一年卒)支部長はじめ十二名の会員が出席、山口

県支部から四名が参加された。総会時では本年の事業・

決算が報告され、役員改選として、坂本源一氏(建築科三十四年卒)が副支部長、

日高源市氏(建築科三〇年卒)、河野孝志氏(建築科二十六年卒)が幹事として、

青木靖長氏(建築科四十年卒)が会計として、宮本義

弘氏(建築科三十三年卒)、岡崎勇夫氏(建築科三十四年卒)が会計監査として承

認された。

懇親会では山口県支部長の吉崎 錦明氏のすばらしい歌声で、大いに盛り上がり

四月二十一日

山口県支部総会

吉崎錦明前支部長はじめ会員二十七名の出席(担当Ⅱ下関地区)、来賓として九州支部から四名の出席。前支部長の吉崎 錦明氏から新支部長の大屋 節雄(岩国)氏へバトンタッチが行われた。

懇親会では下関名物「ふく」のフルコースが出され、料理を堪能し、大いに盛り上がり、最後に応援歌、校歌を熱唱、締めとなりました。

四月二十六日

江工会市役所支部総会

今田三之支部長はじめ会員約三十名の出席。二年の任期を経て、支部役員の改選が行われ、新支部長として、藤田佳久氏(建築科四十九年卒)が選出された。懇親会に移りアトラクションとして石見神楽の恵比寿が上演され、大変に盛り上がり、最後に校歌を熱唱、締めとなりました。

事務局だより

平成二十五年一月〜十二月

【二〇三三(平成二十五年)】

二月一日

会報四十七号発行

県内外各支部、卒業生在籍、地元企業、現任教職員、在校生、同窓会等に配布。

平成24年度 江工会一般会計決算書

【1】収入の部

費 目	本年度予算額	本年度決算額	差 引	摘 要
1. 繰越金	849,728	849,728	0	平成23年度一般会計より
2. 会費・入会金	1,004,000	986,465	17,535	23年度卒業生終身会費
3. 寄付金	10,000	15,000	△5,000	関東支部より
4. 繰入金	0	0	0	
5. 雑収入	272	16,098	△15,826	名簿販売、預金利息
合 計	1,864,000	1,867,291	△3,291	

【2】支出の部

費 目	予算額	決算額	差 引	摘 要
1. 工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
2. 会報発行費	180,000	178,500	1,500	会報47号発行
3. 記念品費	33,000	29,050	3,950	卒業生へ卒業証書用丸筒
4. 会館運営費助成	150,000	150,000	0	会館運営会計へ
5. 通信費	25,000	24,270	730	案内状、会報発送、他
6. 旅費	350,000	226,290	123,710	支部訪問、他
7. 会議費	200,000	143,237	56,763	総会費、支部総会出席
8. 慶弔費	30,000	24,979	5,021	弔電、もりかご
9. 雑費	30,000	19,145	10,855	広告料、謝礼、写真、他
10. 積立金	0	0	0	
11. 予備費	856,000	0	856,000	
合 計	1,864,000	805,471	1,058,529	

収入総額 1,867,291 円 - 支出額 805,471 円 = 差引残額 1,061,820 円

平成25年度 江工会一般会計予算書

【1】収入の部

費 目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
1. 繰越金	1,061,820	849,728	212,092	平成24年度繰越金
2. 会費・入会金	550,800	1,004,000	△453,200	平成25年度卒業予定者会費 51名×900円×12月
3. 寄付金	10,000	10,000	0	
4. 繰入金	0	0	0	積立金会計より繰入
5. 雑収入	380	272	108	預金利息、等
合 計	1,623,000	1,864,000	△241,000	

【2】支出の部

費 目	本年度予算額	前年度予算額	増△減	摘 要
1. 工業教育振興費	10,000	10,000	0	県高校工業教育研究会へ
2. 会報発行費	180,000	180,000	0	会報48号発行
3. 記念品費	20,000	33,000	△13,000	卒業生へ卒業記念品
4. 会館運営助成費	150,000	150,000	0	江工会館運営会計へ
5. 通信費	25,000	25,000	0	案内状、会報発送、他
6. 旅費	350,000	350,000	0	理事会、支部訪問、他
7. 会議費	200,000	200,000	0	本部総会・支部総会 出席
8. 慶弔費	30,000	30,000	0	
9. 雑費	30,000	30,000	0	広告料、謝礼、他
10. 積立金	0	0	0	
11. 予備費	628,000	856,000	△228,000	
合 計	1,623,000	1,864,000	△241,000	

五月十六日

江工会理事会・総会

役員改選が行われ、会長に土井正人氏（工業化学三十九年卒）が選出され、副会長砂田忠氏・松浦三郎氏は留任、新たに池田隆司氏（電気 四十三年卒）が選出されました。二十四年度事業・決算報告、二十五年度事業・予算審議。すべての議案が承認された。

総会や懇親会に関東支部副支部長勝田友治氏をはじめ、十八名の出席があり、親交を深めることができました。

六月一日

関西支部総会

風早 昭（建築科四十四年卒）支部長はじめ五十四名の会員の出席。

来賓として、関東支部より勝田友治副支部長（電機科三十八年卒）、河野一史氏（建築科四十年卒）の二名の出席。また、江津支部より事務局長の横田学氏（工業化学科四十三年卒）が出席。

総会では、前年度の活動（事業）や決算の報告、本年度の活動（事業）計画や予算、新役員についての審議があ

りました。

懇親会には総勢五十六名の出席があり、アトラクションとして山崎悌史オンステージが演じられ、大変盛り上がりしました。



関西支部総会

六月八日

浜田支部総会

第四回総会をジョイプラザにて開催。延べ三十三名（来賓含む）が出席。

今回は弥栄支部から四名の方の出席がありました。現在、支部会費納入会員は五十七名ですが、次期総会は、役員改選を含め更に拡大に向け取り組んでいくことを話し合いました。

七月十六日

名簿会社サラトと開校八十年記念江工会名簿作成の契約を結ぶ。

十月二十三日

名簿作成用確認はがきを発送開始。

十一月二十二日

益田支部総会

三好家で開催。佐々木忠之支部長（電気科三十九年卒）はじめ十二名が出席された。

総会では佐々木支部長挨拶、事業報告、監査報告、池田副会長挨拶、事務局よりの状況報告が実施された。事務局状況報告では、役員改選と来年に迫った八十周年事業について説明をおこなった。総会に引き続いて、懇親会が実施され、部活動、寮・下宿生活、通学等の高校時代の思い出話とおおいに盛り上がった会となった。

八〇周年記念事業について

平成二十六年度は、江津工業高等学校開校八十周年を迎えます。開校記念式典は、十月十日（金）に行われます。

関東支部支部長の西村氏に講演を頂く予定になっていきます。また、その日の夕方より祝賀会を開宴いたします。

江工会では、記念に江工会名簿を十年ぶりに発行いたします。よりよい名簿になるよう、準備して参ります。会員の皆様方でお持ちの情報がございましたら、すでにお送りしていただけます名簿作成用確認はがきにご記入の上、返信していただければ幸いです。

また、多くの会員の方に名簿を購入していただきたく、ご協力をお願い申し上げます。

計 報

謹んでお悔やみ申し上げます

旧職員

南口 博（英語）

会 員

- 前田老正（建築 S 28 年卒）
- 田中邦政（機械 S 31 年卒）
- 佐々木浩（建築 H 5 年卒）
- 前田新維（機械 S 39 年卒）

編集後記

多忙な折、快くご寄稿いただきましたこと、厚くお礼申し上げます。おかげさまで第四十八号を発行することができました。

一面の写真は、この所の寒波で島の星山（星高山）が雪化粧した様子です。

昨年の出雲大社の大遷宮の影響で、山陰の様子がよくテレビ番組やCMで取り上げられます。

島の星山もクイズ番組に取り上げられ、江津市の法事ケーク、有福温泉の恋人の聖地等ローカルな話題が全国放送で放映されています。

これらの話題に負けないよう母校の話題も発信して行きたいのですが、生徒数の激減のため、部活動も今ひとつ元気ではありません。でも、「江工スピリッツ」はまだ消えていません。「何くそ、負けるものか!」これからの江津工業高校後輩達の活躍に期待ください。

なお、今後とも、会報に對しましてご意見、情報等（同窓会報告、会員消息等）がございましたら事務局へご連絡をお願いいたします。

(高月)